

偉人の地を巡礼する

万葉の歌人や、江戸の大老、現代の文豪など、様々な偉人ゆかりの地へ行ってみよう！

てん おう じ 天應寺

MAP 佐野駅周辺図 J-9

彦根藩主井伊家

佐野市堀米町 754 ☎ 0283-22-2104

佐野は、寛永10年(1633年)より彦根藩領となり、彦根藩主井伊直孝から15代まで235年間続きました。墓地の高台に直孝、直澄、直弼の墓碑があります。大老井伊直弼の墓碑は、唐破風を乗せた小松石で出来ています。いずれも遺髪を納めたといわれています。

市指定文化財
「井伊家墓碑」



ひと まる じん じゃ 人丸神社

MAP D-7

柿本人麻呂

佐野市小中町 1061 ☎ 0283-22-5370

旗川・秋山川の扇状地の扇端部にあり、湧水をもとに神苑が成立する文学的景勝地です。万葉の歌人「柿本人麻呂」を祀り、小堀鞆音作の「柿本人麻呂神影」があります。

県指定文化財
「柿本人麻呂神影」
市指定文化財
「柿本人麻呂像」
市指定文化財
「神楽面」
市指定天然記念物・市指定名勝
「人丸神社湧泉地」
「人丸神社神苑」



たい げん じ 台元寺

MAP 佐野駅周辺図 J-10

佐野市犬伏上町 1892 ☎ 0283-23-0141

100体の観音像は、日光山の了覚上人発願により、江戸時代に天明鑄物師たちの競作として作られました。内訳は千手観音30、十一面観音28、聖観音24、如意輪観音8、延命観音4、馬頭観音2、不空罽索観音2、准胝観音2となっており、西国33観音、坂東33観音、秩父34観音の百観音が居並ぶ姿は見事です。



市指定文化財「佐野百観音」

みょう げん じ 妙顕寺

MAP 佐野駅周辺図 I-9

キム オッキョン ファン チェル ウ ボン ソン 金玉均・黄鍊・禹範善・須永元

佐野市堀米町 264 ☎ 0283-22-1524

本堂の扁額「開本山」は甲申事件で日本に亡命した金玉均の書によるもの。朝鮮の閔妃暗殺事件に関与したとされる黄鍊、禹範善の墓があります。また須永元の依頼により、朝鮮公使三浦梧楼が筆をとった水盤には「遠塵離垢」とあります。



とう こう じ 東光寺

MAP 佐野駅周辺図 H-11

車塚伝説・伝教大師・最澄

佐野市寺中町 2337 ☎ 0283-22-2474

最澄は、自身で彫った薬師如来像を関東に送らせましたが、この地で牛車が動かなくなり、仏の致すところと七堂伽藍を建立し安置したといわれています。車を埋めたところは車塚と呼ばれています。



市指定文化財「中門」
市指定文化財「和算の額」
市指定天然記念物「広葉杉」「かや」

あか ぎ じん じゃ 赤城神社

MAP 佐野駅周辺図 H-11

日本武命 佐野市植下町 430 ☎ 0283-24-0503

上毛国富士見村(群馬県)の赤城神社の分霊。祭神は彦狭島王命、日本武命が東征の際、この地に陣を張ったとの伝承があります。また、平将門を討った藤原秀郷が凱旋陣の武具を収納したとの言い伝えの四つ塚があります。



市指定文化財「銅造鳥居」

し ぼりょう たるう ぶん がく ひ 司馬遼太郎文学碑

MAP 佐野駅周辺図 H-11

司馬遼太郎 佐野市寺中町 2297-1

植野地区公民館敷地内

太平洋戦争末期、佐野市の国民学校に駐屯していた福田少尉(後の司馬遼太郎)。多感な青春時代の一時期を植野地区で過ごし、佐野は司馬文学の出発点と言われています。碑文には佐野についての印象が記述してあります。



あの有名な物語は…

願成寺 佐野源左衛門常世

佐野市鉢木町 15-5 ☎ 0283-85-3285 MAP E-4

北条時頼が雪の夜、常世宅に宿泊した際、秘蔵の鉢の木を炊いて暖をおくり、鎌倉より招集の時、一番に馳せ参じ忠誠が認められた古武士の美談「鉢の木物語」で有名な「佐野源左衛門常世」(市指定史跡)の墓があります。



れい へい し

日光例幣使街道の宿場町



力が宿るパワースポット

江戸幕府は、元和3年(1671年)に久能山から徳川家康の遺骸を日光山に移して東照宮を造営し、毎年4月14日を東照宮の大祭日としました。この大祭に朝廷から派遣された奉幣使が通行していた道を日光例幣使街道と呼び、京都から中山道下り群馬県の倉賀野で分かれ、木崎、栃木県の天明、犬伏、鹿沼宿などを経て今市で日光街道に合流する街道です。現在でも数多くの歴史的建造物が残されています。

殿町通り 出桁造りの商家



殿町通りには、明治以降民家や商家の建築に用いられた、出桁造りの商家があります。梁を出した出桁で軒の垂木を支える構造で、軒の立派さが商店の格を示しています。

日光例幣使街道

- ・小沼呉服店
- ・大坂屋
- ・旧土佐屋薬局 (現：味噌まんじゅう新井屋)



県道67号線沿いは、かつて日光例幣使街道でした。江戸～明治に建てられた歴史の重みを感じさせる商店を見ることができます。

旧佐野大橋跡 (秋山川)

日光例幣使街道の橋が架けられていた場所です。古くは舟に板を渡して渡る「舟橋」(佐野の舟橋伝承地の一つ)であったとされ、江戸時代には、木橋を架け「猿橋」と呼ばれました。付近は猿沢という地名で、橋の袂には「猿屋旅館」が建てられていました。県道67号線に架かる「大橋」は昭和に架けられた橋です。また秋山川は、万葉集にも詠まれています。

江戸街道 (現：大和町通り) ・太田邸 ・寺岡邸 ・小島邸

江戸街道沿いには、旧糸問屋「寺岡邸」があります。洒落た洋館「小島邸」や江戸時代末期に建てられた「太田邸」は、呉服商の旧店舗です。



金屋仲町 ・日本基督教団佐野教会



金屋とは鋳物師の作業場のこと。周辺には木造教会として貴重な日本基督教団佐野教会など洋風建築があります。

佐野の伝統工芸品

佐野節句かけ軸

飛駒和紙

江戸時代から障子紙などに使われ、現在でも原料となるコウゾの栽培から紙すきまで、昔ながらの技法を引き継いでいます。

◎ 飛駒和紙会館 ☎ 0283-66-2481



室内装飾品であると同時に子どもの健やかな成長を祈り飾られた佐野節句かけ軸。男児は加藤清正、一ノ谷、鯉金、女児では藤娘や八重垣などがよく知られています。他にも正月、3月、5月のそれぞれの節句にちなんだ絵柄、図柄を有しています。職人は刷毛筆等を駆使した伝統技術によりそれらを描きます。

◎ 佐野人形協会 ☎ 0283-22-1436 (小喜人形店)



佐野衣装着雛

いしやうきびな

日光東照宮造営に携わり、後に佐野に住み着いた職人が佐野の人形職人の起源と伝えられています。その技術や伝統は今に受け継がれています。女児の健やかな成長を願う雛人形。人形師はその想いを胸に精魂を込めて一体一体作っています。

◎ 佐野人形協会 ☎ 0283-22-1436 (小喜人形店)

栃木鬼瓦

おにがわら



龍立物

江戸時代末期に良質な粘土が見つかったのが栃木の瓦の起源といわれています。家内安全の魔除けとして屋根だけでなく、装飾品として室内、屋外でも使用されています。

◎ 山上菊三 ☎ 0283-62-0601

